

日本ビジネス航空協会 会報

2023 年 7 月号



JBAA JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

CONTENTS

◇ 会員紹介 1 ページ

株式会社 Japan Biz Aviation

◇ JBAA HP ACCESS 実績 6 ページ

◇会員紹介

株式会社 Japan Biz Aviation

Japan Biz Aviation(JBZ)は2023年6月現在においてHonda Aircraft社製HA-420型(Honda Jet)を運航する国内唯一の航空運送事業会社であり、航空機整備・航空機部品販売・操縦訓練事業を展開する株式会社Japan General Aviation Service(JGAS)のグループ会社です。

2012年12月に設立されたシークエンス航空株式会社を2020年に株式会社Japan General Aviation Serviceが買収し、現社名に変更しました。

【会社概要】

会社名 株式会社 Japan Biz Aviation
ICAOコード JBZ
代表者 代表取締役 小泉 慎（ウェルスマネジメント担当）
代表取締役 富永 政幸（航空運送事業担当）
所在地 東京都大田区羽田空港一丁目8番2号5階
資本金 1,000万円
社員数 24名
許認可 航空運送事業・航空機使用事業（東空振第60号）
グループ会社 株式会社 Japan General Aviation Service

【当社事業の特長】

当社の特長は、何よりもオーナーファーストであることです。安全・遵法性以外のことに関しては、当社側の理屈は押し付けないスタンスを貫いております。

羽田空港・成田空港を拠点に自家用機としての運航受託はもちろんのこと、航空運送事業会社であることから当社の事業機に編入しオーナー様が使用されない期間にチャーター運航を行うことも可能です。

JGAS社の鹿児島空港の格納庫だけではなく、函館空港の格納庫も当社にて運営管理をしており、北日本の空港において冬季オーバーナイトステイが出来ない場合でも、羽田・成田空港に航空機をオーナー様、お客様に負担のかかるFerry Backさせることなく運航が可能です。



函館空港の格納庫



巡航中の Honda Jet 操縦席



目的地に到着した Honda Jet

【事業開始の経緯】

2018年春、PrivateBANK 社^{※1}にも所属する当社代表の小泉のクライアント様から、丸紅エアロスペース様を通じ、HondaJet 日本初号機を購入し、自ら HondaJet のタイプレーティングを取得したいというオーダーがありました。全国津々浦々、様々行脚した結果、小泉と JGAS 社にて協業していくことで合意に至り、まずは自家用機として運航していくこととなりました。2019年3月、HondaJet 日本初号機としてデリバリーされて以降、順調に自家用運航が進んでいた中、「機体を使用しない時に貸し出したい」というオーナー様からの要望を受け、チャータースキームについて弁護士含め検討を始めました。

日本にはアメリカで言う「フラクショナルオーナー制度」が認められていない中、機体を簡易に貸し出す方法として「航空機レンタル」があります。

「航空機レンタル」について航空法等において、確たる見解がなかったため、国土交通省に対して法令適用事前確認手続（ノーアクションレター）^{※2}を実施しました。

国土交通省からは、「航空機レンタル」には「航空運送事業」「航空機使用事業」の様な許可を必要とする定めがないとしつつも、実体上所有者または操縦士が第三者に対する航空機の貸し出しや操縦士のあっせんを一体的に行っていると判断されてしまうような場合には、事業許可の取得を求められる可能性があるとの回答が寄せられました。

上記回答を受け、当社としては一点の曇りもない状態でチャーターを行うには、航空運送事業化を行わなければならないとの判断に至りました。

先ず JGAS 社のビジネスジェット運航部門を当社に移管し、約 2 年超の準備期間を経て、2022 年 10 月 31 日に HA420 型の事業認可を取得し、同年 11 月 15 日に事業機編入を完了いたしました。また、日本で初めて航空機整備会社の傘下に航空会社が誕生した瞬間でもありました。

当社の認識として、日本においては航空法の行間を拡大解釈し、航空機と操縦士を別々に手配しているかの如く、ただ請求書を分けているに過ぎない方法で「航空機レンタル」を実質一体で、俗に言う白タク事業の如く行っている個人・法人が複数存在しているとの疑念を拭えません。ジェネラルアビエーション業界の信頼を更に高めるためにも、白タクまがいの事業者は厳重に取り締まるべきであり、そのためには航空法等において、航空機レンタルについてのルール設定、明文化をする必要があると考えています。

当社は引き続き、より多くの方にビジネスジェットを安心してご利用いただけるよう精一杯尽力して参ります。

※1：PrivateBANK 社（東京都渋谷区所在、2023 年 7 月より東京都港区へ本社移転予定）は、最低資産額 100 億円以上の超富裕層向けにファミリーオフィス事業を展開する会社である。2023 年 6 月時点の総お預残高は 1.5 兆円超。

※2：岩崎法律事務所（東京都千代田区）より航空局あて照会『[令和元年 12 月 2 日国空事 1169 号](#)』

【JBZ 版 フラクショナルオーナーシップ】

当社最大の特長は、航空機の共同所有スキームです。共同所有スキーム自体は珍しいものではなく、これまでも様々な形で行われてきていると思います。しかしながら、共同所有スキームに参加されるオーナー様をグリップし、仕組みを機能させることに当社のノウハウがあります。

また、言わずもがな、航空機は整備等で年間を通して利用できない期間が生じます。

そして用途によっては、ご自身の所有機以外の機種が適していることもあります。そのため、当社で事業機登録を頂いた航空機間での相互利用体制を整備することで、オーナー様には航空機のダウンタイムなく、さらに利便性高くご利用いただける枠組みを提供しております。

自家用機で出来ないならば、事業機同士でやってみる。

日本のジェネラルアビエーション業界を盛り上げる1つの要素になると確信しております。

【当社施設のご紹介】

東京モノレール「整備場駅」の目の前にある東京航空計器羽田メンテナンスセンタービル5階に本社を置いています。

JBZ のオペレーションセンターとも言うべきこの場所で日本各地を飛行する Honda Jet の飛行をモニターしています。



本社事務所内の運航管理ブース

また、同じフロアにお客さま用のラウンジも設置しました。
出発までのひと時をお過ごしいただけます。



グランドハンドリングはハンドリング会社様に委託しておりますが、JBZ ハイエースも導入しています。



ランプステッカーを取得し、ランプ内走行も可能



車内はVIP仕様

JBAA HP Access 実績

